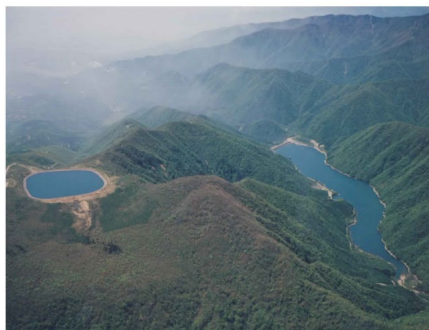


ダムと地震

ダムと地震



一般財団法人 日本ダム協会

ダムエンジニア必携

A4 版 284 ページ、発行部数限定
定価 2,000 円(消費税・送料込み)

発刊によせて

京都大学名誉教授 長谷川 高士

ダムは現代社会において、治水、利水(発電、農業用水、上
工水)といった広い分野でそれぞれ求められる機能を果た
し、国土の強靱度を高め、社会の安定維持に大きな役割を果
たしていることは、言うまでもありません。ところが、その一方
で我国は、地理、地質や地形、地勢的にみて自然災害を受
けやすく、地震や降雨による被害が多発し、特に過去 100 年
間に発生した大地震を見れば、それは我が国全土各地に亘
り、最大震度 7 以上のものが 5 つ、最大震度 6 強が 9 つも
発生し各分野に被害を与えています。(中略)

複数のプレートが複雑に絡み合った地理学的地点に存在
する我国では、地震現象をプレート活動の一定の回帰期間
の中で発生するものとしてみれば、決して安心できるとはい
えず、近未来にほぼ必ず強い地震が起きると考え、常に技術
進歩を心掛ける必要があります。(中略)

この度、近年経験した地震のダムへの影響に関する知見
を集積し、継承を図る努力として行われるこの出版は、ダム
技術の進歩を通じて国土強靱化に貢献し、社会の発展に繋
げるという大きな意義を持つものとして、大いに価値あるもの
といえましょう。

目次構成

本書は、地震によりダム堤体・ダムサイトのどの箇所が被災し、どのような問題が生じたのか、その調査方法・復旧方法
の実際を集めたものであります。第 1 章に既往地震とダムとの関連やダムの耐震設計の一般的な考え方、およびレベル 2
地震動を想定した施工事例を記載しました。第 2～5 章では、4 地震での被害を受けたダムの被害、調査および復旧の調
査報告になっています。第 6 章では地震による河道閉塞、最後に第 7 章で調査のまとめとして耐震強化への留意点等を
記述しています。耐震補強工事や被害ダムの調査、復旧工事において、本書が事例集として参考になれば幸いです。

第 1 章 ダムと地震

＜コラム＞ 内陸地震の震源深さは 20km が限界

第 2 章 2004 年新潟県中越地震によるダム被害

第 3 章 2008 年岩手・宮城内陸地震によるダム被害

＜コラム＞ 500t クローラ飛び上がる

＜コラム＞ 貯水池から 20 万 m³ の不明水

第 4 章 2011 年東北地方太平洋沖地震によるダム被害

＜コラム＞ 最適含水比から最適飽和度へ

第 5 章 2016 年熊本地震によるダム被害

＜コラム＞ 熊本城石垣崩壊せず

第 6 章 地震による河道閉塞

第 7 章 ダムと地震のまとめ

お申し込みは、勤務先、〒住所、氏名、TEL、書籍名、申込冊数を記載の上、郵送・FAX 若しくは E-Mail
で下記書籍係までお送りください。

一般財団法人 日本ダム協会 書籍係

〒104-0061 東京都中央区銀座 2 丁目 14-2 銀座 GTビル

TEL03-3545-8361 FAX03-3545-5055 E-Mail: syoseki2@jdam.jp URL: <http://damnet.or.jp/>